

麻酔科卒後臨床研修プログラム

I. 到達目標

1. 気道確保・気管内挿管を中心に呼吸管理、救急処置等を習得する。
2. 術前訪問による手術患者の評価、及び手術患者の評価および全身麻酔中の患者管理を修得する。

II. 行動目標

1. 社会人としての礼儀・節度を守り、患者への対応、麻酔科関連領域における看護師、臨床工学技士、放射線技師、薬剤師などの役割を認識し協力してチーム医療をおこなう。
2. 麻酔科記録紙を公の種類として認識し、もれなく記録しその取扱い等には十分に配慮する。
3. 術前患者の評価を行う。
4. 麻酔管理に必要な基本的手技を実施する。
 - i. 静脈確保(含中心静脈)
 - ii. マスク換気
 - iii. 気管内挿管動脈カニューレーション
5. 全身麻酔の維持管理を行う。
 - i. 各種吸入麻酔薬の使用。
 - ii. 麻酔器の取り扱い
 - iii. 術中輸血輸液管理。
6. 術中使用モニターを取扱い、その結果を解釈する。
 - i. 心電図
 - ii. 観血的動脈圧
 - iii. 酸素飽和度
 - iv. 呼気終末炭酸ガス濃度
7. 主要な術中薬剤を適切に使用する。
 - i. 鎮痛薬
 - ii. 鎮静薬
 - iii. 筋弛緩薬
 - iv. 昇圧薬
 - v. 降圧薬
 - vi. 抗不整脈薬
8. 局所麻酔と手技と維持管理を行う。

- i . 脊椎麻酔
 - ii . 硬膜外麻酔
9. 手術室における基礎的検査を実施し、その結果を解釈する。
- i . 動脈血ガス分析
 - ii . 電解質分析